

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

和歌山県公立紀南病院組合 紀南病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	41,959	-	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
352	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	356
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
337	-	337

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

少子高齢化と人口減少が問題となっている田辺2次医療圏において、不採算部門（救急・小児・周産期・災害・精神等）の医療機能を維持し、変化する医療需要に応じた医療を提供する役割を担っている。また、医師や看護師の人材を確保し地域完結型医療を構築するため、引き続き急性期医療を充実させ、経営基盤を強化していく必要がある。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度における経常収支比率は、一般会計からの繰出やコロナ空床確保事業補助金の受け入れにより医業収支比率に比べ大幅に上昇した。独立採算制を示す修正医業比率では100%に届かず、コロナ受け入れのため一般診療や手術の一部制限、不採算部門の医療機能の維持によるものなどが要因と考えられる。病床利用率は空床確保を行いながらも一般診療との両立を行い、患者数の増に伴い増加している。材料比率に関しては、新型コロナ受入重点医療機関であるため、感染対策にかかる衛生材料や検査試薬等が増加したことに加え物価の高騰が影響し、類似病院平均値よりも高くなったものと考えられる。

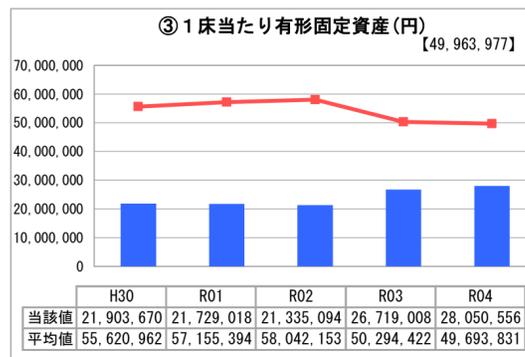
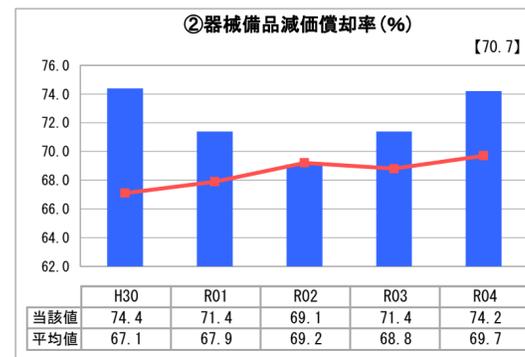
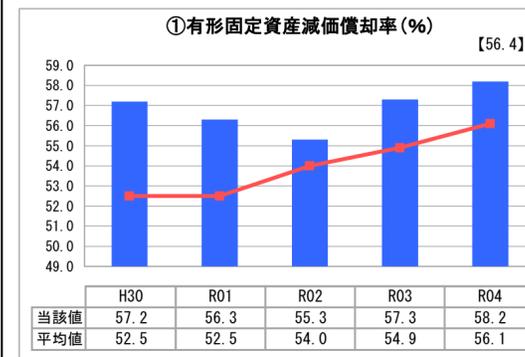
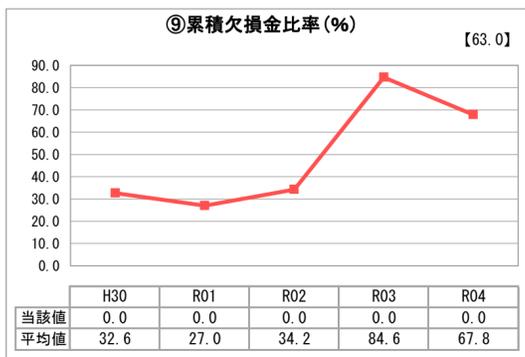
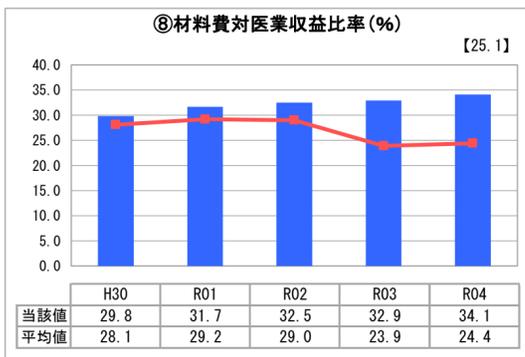
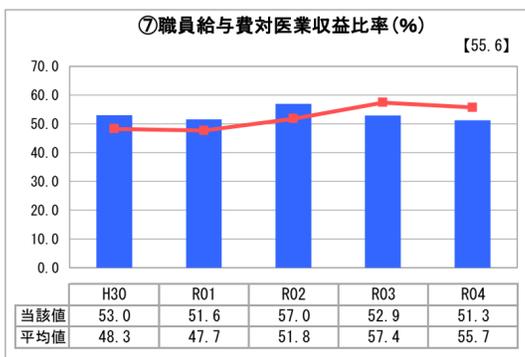
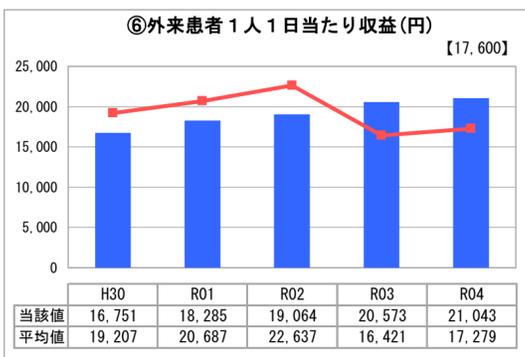
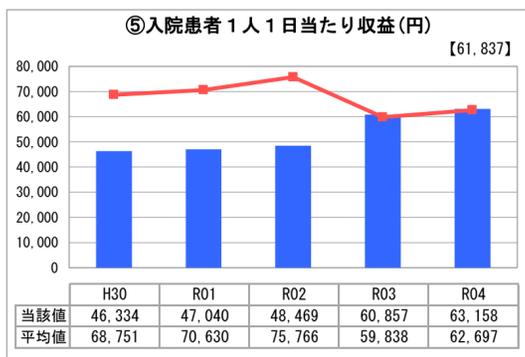
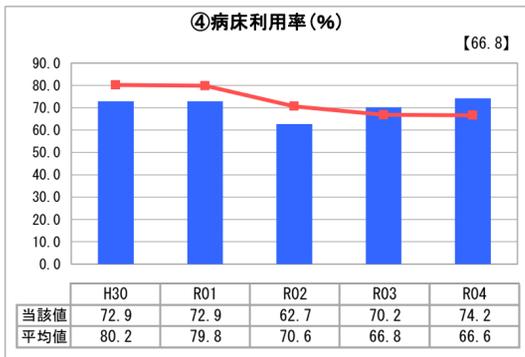
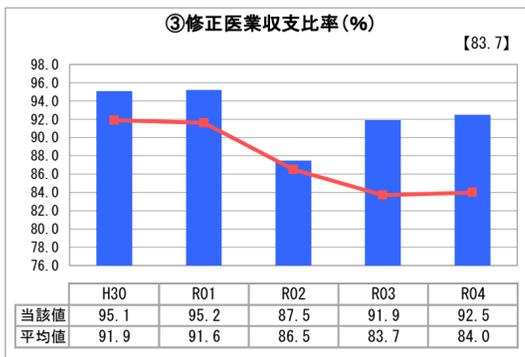
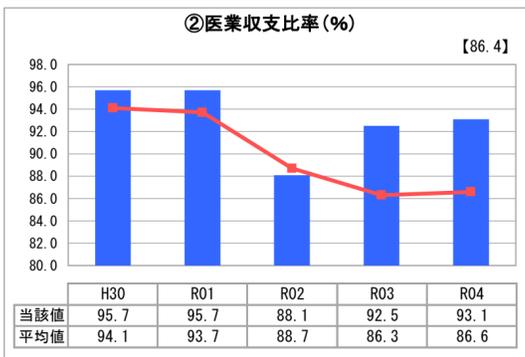
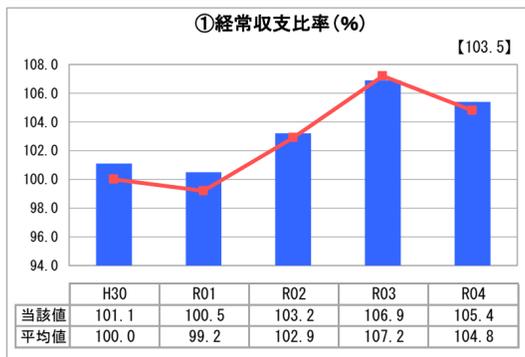
### 2. 老朽化の状況について

今年度の設備更新では非常用発電設備の増設、資産の購入では経年劣化の医療機器の更新を行った。有形固定資産、器械備品減価償却率が上昇しているのは令和2年度からのコロナ患者受入体制の整備による購入資産の増加、昨年度にMRIやCTなどの医療機器、電子カルテシステム等の大型更新が行われ、減価償却費が増加していることなどが考えられる。今後は毎年3億円程度の更新を計画し、医療サービスに支障をきたさないよう適切な設備投資を行っていく。

### 全体総括

令和4年度はコロナ禍から社会経済活動の回復が進み、診療においても感染症の対応と一般診療平常化の両立を図りながら重点医療機関としての役割を果たした。患者数が増加し、入院、外来収益ともに増加したが、コロナ対応特別手当の支給や電気料金の高騰などの影響により費用が増加し、医業収益では754,448千円の赤字となった。経常収支では補助金収入等により12期連続の黒字決算を達成している。今後も医業収支比率の向上を目指し、収益に対する費用の効率化を図るなど経常収支の黒字を維持できるよう努めていく。

## 1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

和歌山県公立紀南病院組合 紀南こころの医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	精神科病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	2	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	12,421	非該当	非該当	15：1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
198	-	198
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [ ] 令和4年度全国平均

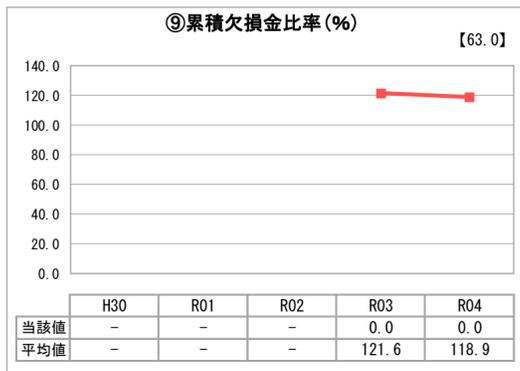
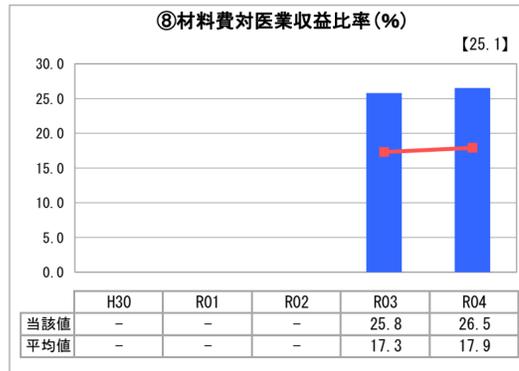
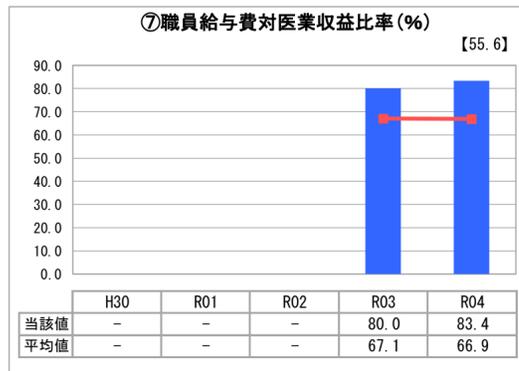
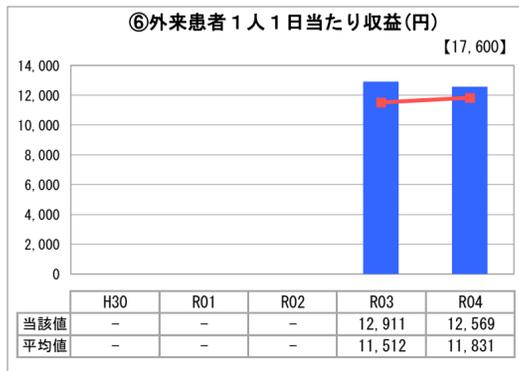
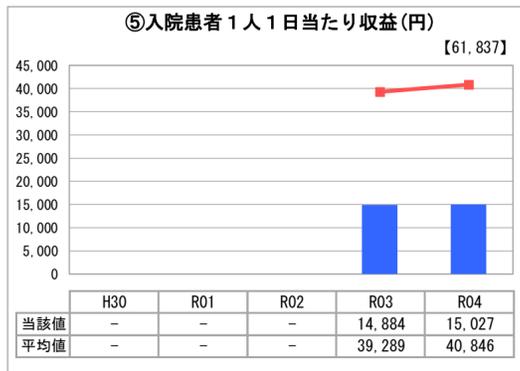
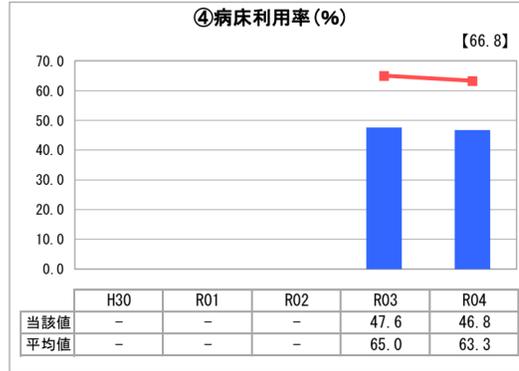
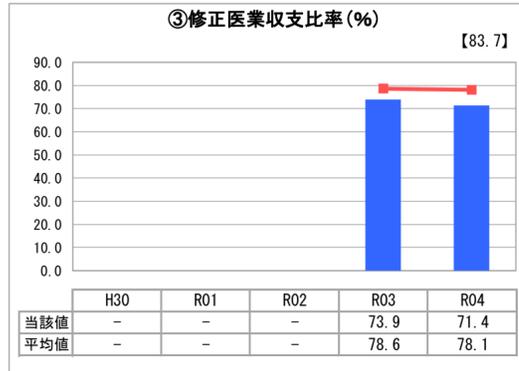
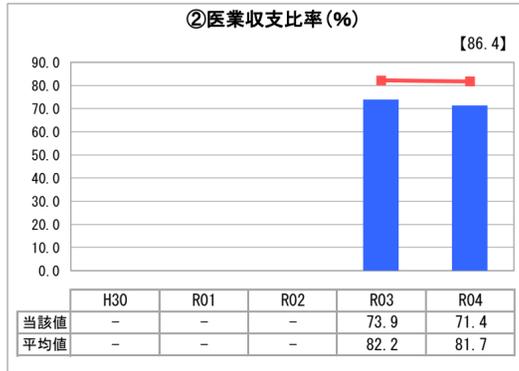
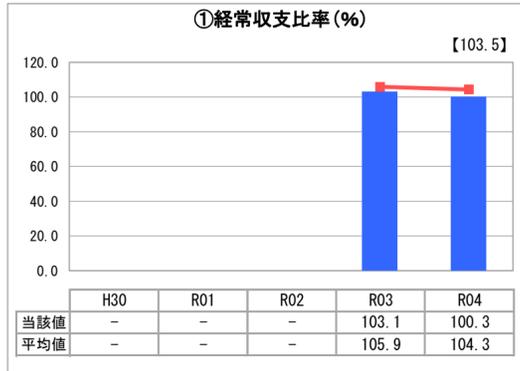
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

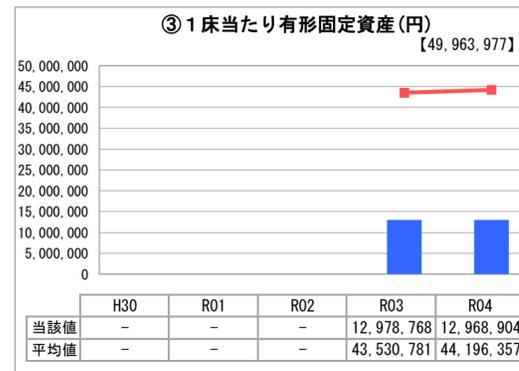
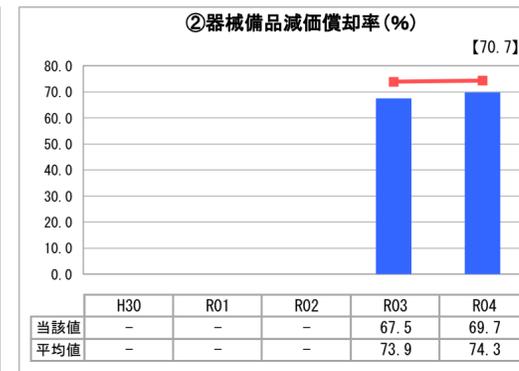
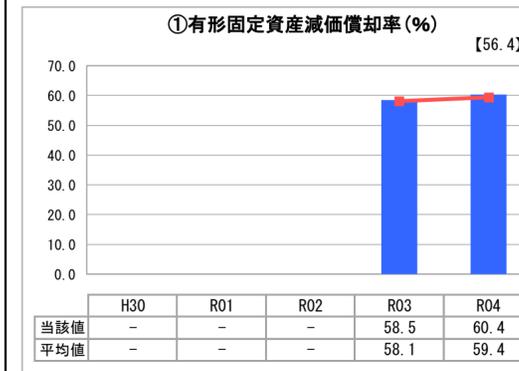
## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況



### I 地域において担っている役割

当地域唯一の公立の精神科医療施設として、入院はもとより、外来診療・地域精神保健・福祉相談や救急患者・青年期患者・措置患者に対応している。また、地域の障害者入所施設や通所施設への精神科医療上の支援も行っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

全国的傾向と同様に入院患者数が減少してきており、病床利用率が低くなっている。今後入院患者が増加に転じる可能性は少なく病床再編を含めた費用削減に取り組む必要がある。

一方で外来患者数については増加傾向にあり、県内他地域の精神科病院と比較しても顕著である。外来収益を増加させることで入院患者減少による入院収益の減少を補い、病院全体として更なる経営健全化を目指す。

#### 2. 老朽化の状況について

現病院は昭和59年より使用しており建物、設備で老朽化が顕著な状況である。経年劣化による機器の更新は順次実施しているが、建物・設備の修繕費用は今後さらに増加すると思われることから早期の建て替えもしくは移転が必要と思われる。

#### 全体総括

平成22年度から経常黒字を続けており、現時点では経営状況は安定している。今後は入院患者の身体的疾患への対応など効率の面から紀南病院内の1診療科としての編入なども今後検討が必要と思われる。建物・設備の老朽化も深刻であり、修繕や更新の費用も増大している。経営の効率化に並行して建て替え、移転なども検討課題であり、総合的な対策が求められる。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。